

平成18年7月7日  
統計部公表

## 平成17年農業物価指数（平成12年基準） （埼玉県）

～ 農産物価格指数（総合）は前年に比べ4.7%低下  
農業生産資材価格指数（総合）は前年に比べ1.6%上昇 ～

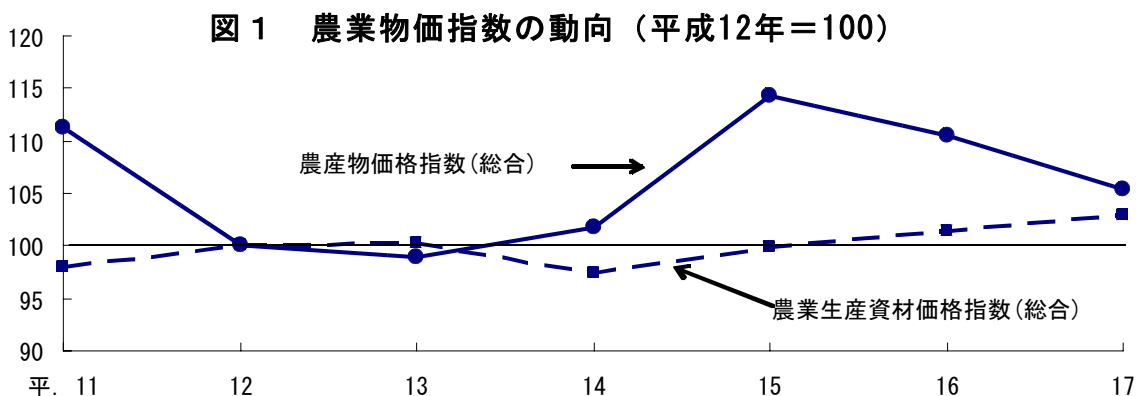
### 【調査結果の概要】

#### 1 農産物価格指数（平成12年＝100）

平成17年の農産物価格指数（総合）は105.4となり、前年に比べ4.7%低下した。これは、畜産物の価格は上昇したものの、米、野菜及び花きの価格が低下したこと等による。

#### 2 農業生産資材価格指数（平成12年＝100）

平成17年の農業生産資材価格指数（総合）は103.0となり、前年に比べて1.6%上昇した。これは、飼料及び農業薬剤の価格は低下したものの、光熱動力、畜産用動物及び肥料の価格が上昇したこと等による。



### 農業物価指数の推移

区 分	平成12年＝100								
	年	次	平. 11	12	13	14	15	16	17
農 産 物 （ 総 合 ）	指 数		111.2	100.0	98.9	101.8	114.3	110.6	105.4
	対前年騰落率(%)		△ 10.3	△ 10.1	△ 1.1	2.9	12.3	△ 3.2	△ 4.7
農 業 生 産 資 材 （ 総 合 ）	指 数		100.1	100.0	100.2	97.5	99.8	101.4	103.0
	対前年騰落率(%)		△ 2.0	△ 0.1	0.2	△ 2.7	2.4	1.6	1.6

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【[http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0707bukka/17bukka\\_s.xls](http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0707bukka/17bukka_s.xls)】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P5に掲載しています。

## 【解説】

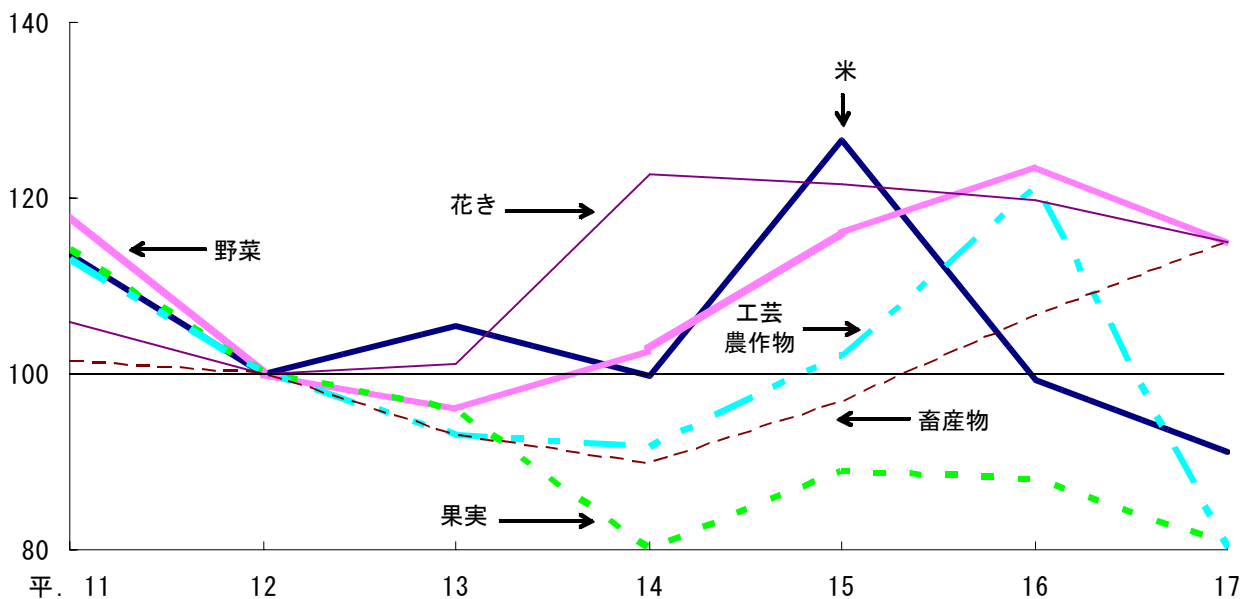
### 1 農産物価格指数

平成17年の農産物価格指数の総合は105.4となり、前年に比べ4.7%低下した。

これは、畜産物の価格が上昇したものの、米、野菜及び花きの価格が低下したこと等による。

- (1) 米は91.1となり、前年に比べ8.3%低下した。これは、17年産米の価格が低下したことによる。
- (2) 野菜は115.1となり、前年に比べ7.0%低下した。これは、前年が台風の被害等により出荷量が減少し、価格が高かった反動による。
- (3) 果実は80.4となり、前年に比べ8.5%低下した。これは、日本なしの価格が低下したこと等による。
- (4) 工芸農作物は80.1となり、前年に比べ34.0%低下した。これは、茶の価格が低下したこと等による。
- (5) 花きは114.9となり、前年に比べ4.1%低下した。これは、切り花類の価格が低下したこと等による。
- (6) 畜産物は115.1となり、前年に比べ8.1%上昇した。これは、米国产牛肉輸入の停止により肉用牛などの価格が上昇したほか、出荷量の減少により鶏卵価格が上昇したことによる。

図2 主な農産物の価格指数の年次別動向（平成12年=100）

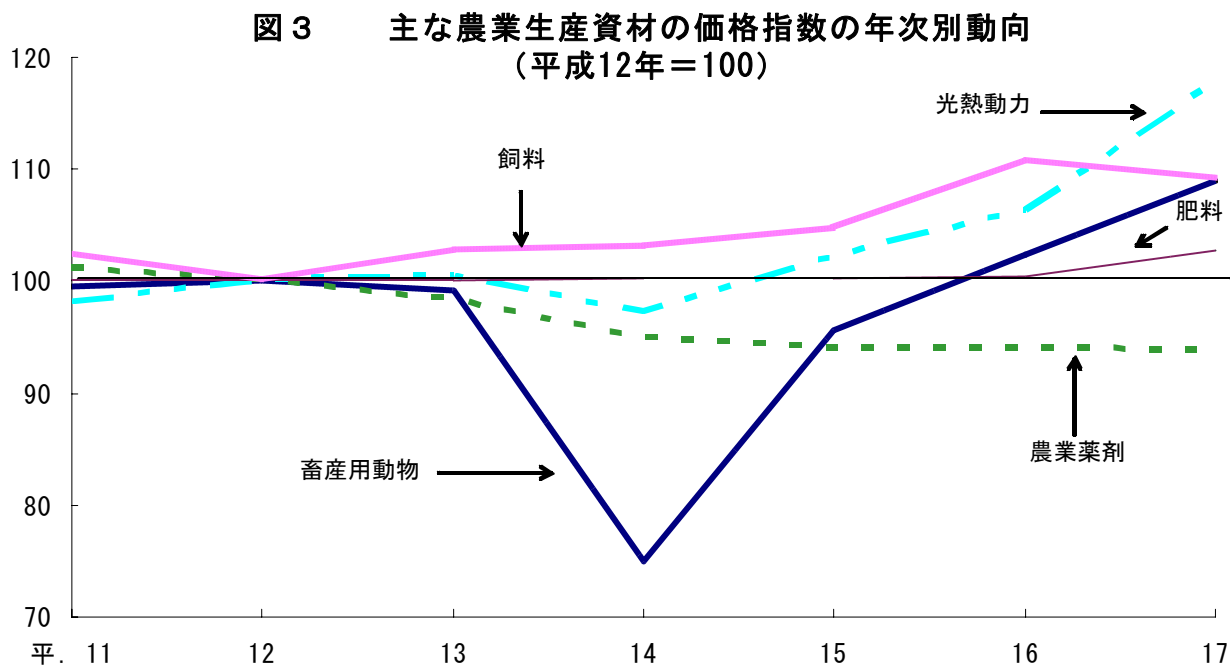


## 2 農業生産資材価格指数

平成17年の農業生産資材価格指数の総合は103.0となり、前年に比べ1.6%上昇した。

これは、飼料及び農業薬剤は低下したものの、光熱動力、畜産用動物及び肥料の価格が上昇したことによる。

- (1) 畜産用動物は109.0となり、前年に比べ6.5%上昇した。これは、肉用牛子牛等の価格が上昇したことによる。
- (2) 肥料は102.8となり、前年に比べ2.4%上昇した。これは、輸入原材料の価格が上昇したこと等による。
- (3) 飼料は109.2となり、前年に比べ1.4%低下した。これは、配合飼料の原料価格が低下したこと等による。
- (4) 農業薬剤は93.8となり、前年に比べ0.2%低下した。これは、メーカー出荷価格が低下したことによる。
- (5) 光熱動力は117.8となり、前年に比べ10.8%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。



【統計表】

農 業 物 価 指 数

平成12年=100

類 別	ウエイト	平. 11	12	13	14	15	16	17	対前年騰落率	
									16/15	17/16
									%	%
農 産 物 ( 総 合 )	10 000	111.2	100.0	98.9	101.8	114.3	110.6	105.4	△ 3.2	△ 4.7
米	2 581	113.6	100.0	105.5	99.7	126.7	99.3	91.1	△21.6	△ 8.3
麦	255	101.4	100.0	93.8	94.1	94.0	88.2	85.7	△ 6.2	△ 2.8
豆	11	100.3	100.0	96.8	90.8	90.4	109.7	116.1	21.3	5.8
い も	67	108.3	100.0	104.4	85.8	103.0	91.4	99.8	△11.3	9.2
野 菜	2 833	118.2	100.0	96.1	102.8	116.2	123.7	115.1	6.5	△ 7.0
果 実	593	114.1	100.0	95.8	80.1	88.8	87.9	80.4	△ 1.0	△ 8.5
工 芸 農 作 物	152	112.9	100.0	92.9	91.6	102.1	121.3	80.1	18.8	△34.0
花 き	1 896	106.0	100.0	101.1	122.8	121.6	119.8	114.9	△ 1.5	△ 4.1
繭	-	98.1	-	-	-	-	-	-	-	-
畜 産 物	1 601	101.3	100.0	92.9	89.8	96.8	106.5	115.1	10.0	8.1
鶏 卵	139	101.0	100.0	88.3	92.2	80.9	93.2	112.5	15.2	20.7
生 乳	397	100.0	100.0	99.6	100.3	100.0	100.3	100.3	0.3	0.0
肉 畜	980	102.2	100.0	89.6	83.7	96.5	110.5	121.3	14.5	9.8
子 畜	18	96.7	100.0	99.0	104.8	97.5	106.6	112.7	9.3	5.7
成 畜	16	99.3	100.0	96.0	86.4	89.5	93.1	99.7	4.0	7.1
繭	51	-	100.0	111.5	113.0	122.7	118.0	123.1	△ 3.8	4.3
稲 わ ら	11	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
農 業 生 産 資 材 ( 総 合 )	10 000	100.1	100.0	100.2	97.5	99.8	101.4	103.0	1.6	1.6
種 苗 及 び 苗 木	896	99.3	100.0	100.1	100.2	100.3	101.4	101.9	1.1	0.5
畜 産 用 動 物	896	99.5	100.0	99.2	75.0	95.7	102.3	109.0	6.9	6.5
肥 料	807	100.0	100.0	100.0	100.2	100.2	100.4	102.8	0.2	2.4
飼 料	1 054	102.4	100.0	102.7	103.1	104.7	110.8	109.2	5.8	△ 1.4
農 業 薬 剤	641	101.1	100.0	98.3	95.0	94.0	94.0	93.8	0.0	△ 0.2
諸 材 料	972	99.6	100.0	99.9	99.8	99.8	99.8	101.7	0.0	1.9
光 熱 動 力	690	98.2	100.0	100.4	97.3	102.2	106.3	117.8	4.0	10.8
農 機 具	2 717	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	99.9	99.9	0.0	0.0
自動車・同関係料金	313	96.5	100.0	101.3	101.2	101.4	101.4	101.4	0.0	0.0
建 築 資 材	191	100.2	100.0	99.6	98.2	97.6	96.5	96.0	△ 1.1	△ 0.5
農 用 被 服	40	100.0	100.0	100.0	100.3	100.4	100.4	100.4	0.0	0.0
賃 借 料 及 び 料 金	783	100.0	100.0	100.0	99.2	99.1	99.1	99.2	0.0	0.1

注：農産物の繭については、平成12年基準改定から、日本標準産業分類の改訂に合わせて畜産物の内訳とした。

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係のある農産物、農業生産資材の価格及び賃金を把握し、その結果を総合して全国的及び地域的な農業物価指数等を作成することを目的としている。

### 2 調査の対象

#### (1) 農産物生産者価格調査

農産物出荷団体等（農業協同組合、出荷組合、集出荷業者又はその団体、青果物・食肉卸売市場等）

#### (2) 農業生産資材価格調査

農業生産資材を販売する小売店等

### 3 調査客体数

#### (1) 農産物生産者価格調査・・・71指定先

#### (2) 農業生産資材価格調査・・・25指定先

### 4 調査方法

農林水産省職員が調査指定先に対して、面接又は電話による聞き取り方法により行った。

### 5 集計方法

#### (1) 基準時

基準時は、平成12年（暦年）の1か年とした。

#### (2) 指数採用品目

指数に採用した品目は、農産物67品目、農業生産資材115品目である。

#### (3) ウェイト

平成12年基準の農業物価指数作成のためのウェイトは、平成12年農業経営統計調査「農業経営動向統計」結果の埼玉県販売農家1戸当たりの農産物品目別販売金額及び生産資材品目別支出金額から作成した。

農産物の総合及び類別の価格指数の算出に当たっては、品目別の月別価格変動を類別指数に的確に反映させるため、類のウェイトを固定し、類内の品目ごとの月別ウェイト（月別出荷量ウェイト）を出回り量によって変動させる「品目別月別ウェイト変動方式」により行った。

#### (4) 基準時価格

基準時価格は、農業物価統計調査による平成12年の平均価格によった。

なお、年平均価格は次の方法で算出した。

##### ア 農産物価格

農産物価格は、品目別に定めた月平均価格に平成11・12年の該当月の出荷量によるウェイトを乗じて年平均価格を算定した。

##### イ 農業生産資材価格

農業生産資材価格は、1月から12月までの12か月の月平均価格を単純平均して年平均価格を算定した。

## (5) 価格資料

農産物価格のうち野菜については毎月5日、15日現在、野菜以外の農産物については毎月15日現在の農家受取価格を調査した。

生産資材は毎月15日現在の小売価格を調査した。

なお、月平均価格及び年平均価格については、基準時価格と同様の方法で算出した。

## 6 計算式

ラスパイレス式（基準時加重相対法算式）とした。

### (1) 品目別価格指数

$$I_{ti} = \frac{P_{ti}}{P_{0i}} \times 100$$

$I_{ti}$  …… t年におけるi品目の価格指数

$P_{ti}$  …… t年におけるi品目の価格

$P_{0i}$  …… 基準時におけるi品目の価格

### (2) 総合価格指数

$$I_t = \frac{\sum_i I_{ti} \cdot W_i}{\sum_i W_i}$$

$I_t$  …… t年における総合価格指数

$W_i$  …… i品目のウェイト

## 7 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

## 8 用語の解説

### (1) 農産物価格指数

農家が販売する個々の農産物の価格を指数化したものであり、類似した商品群ごとに10の類別にまとめて作成している。

### (2) 農業生産資材価格指数

農家が購入する農業生産に必要な資材の小売価格を指数化したものであり、類似の商品群ごとに12の類別にまとめて作成している。

## 9 統計表の見方

表中の記号は、以下のとおりである。

「—」は該当のないもの。

「△」は負数又は減少したもの。

「0.0」は単位に満たないもの。

## 10 その他

本資料の詳細については、追って刊行する『埼玉農林水産統計年報平成17年～平成18年』に掲載する。

○この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】

又は、関東農政局トップページ▶統計データ▶平成18年度

### 問い合わせ先

#### ◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部 経営・構造統計課 経営統計第3係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3624

(直通) 048 (740) 0581

担当者：遠藤

#### ◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613

(直通) 048 (740) 0575